

市民一人ひとりが賢い消費者になるために



▲イメージキャラクター「たからっこ」
◎広報広聴課(消費生活センター)
☎055-934-4841

消費生活センターでは、市民一人ひとりが賢い消費者になり、安全で豊かな生活を営むことができるように、「沼津市消費者教育推進計画」を策定し、市民に対する消費者相談や啓発に取り組んでいます。

こんな時どうする!? センターに寄せられた相談 ~インターネットに関する相談事例から~

- ◆無料だと思って動画を見ようとクリックしたらいきなり会員登録完了画面になり、「誤操作の方はこちら」という連絡先が表示されたため、連絡すると登録解除手数料を請求された。
- ◆料金請求画面がスマホの画面に表示されて見えなくなった。
- ◆請求画面が表示されたときにシャッター音がして、写真を撮られたかもしれない不安だ。



慌てて業者に連絡すると、言葉巧みに個人情報聞き出されて追い込まれてしまいます。ほとんどの場合、有料契約が有効に成立していないので、「絶対に業者に連絡しない」「消費生活センターに相談する」ようにしましょう。
IPA(独立行政法人情報処理推進機構)ホームページにネット上のセキュリティ情報が詳しく掲載されています。スマホやパソコンを使用する人は、ぜひご覧ください。
IPA 情報セキュリティ <https://www.ipa.go.jp/security/index.html>



注意!! 増えています! サギの電話

沼津市職員を名乗り、取引銀行の口座番号などの情報を聞き出そうとしたり、医療費や保険料の還付金があると言ってATMを操作させようとする電話が増えています。



市役所がこのような電話をかけることはありません。還付金等の手続きはATMではできません。怪しいと思ったら相手にしない、あるいは消費生活センターにご相談下さい。携帯電話は非通知着信の拒否設定をしておきましょう。



消費生活センター Facebook をご活用下さい!



悪質商法等に関する消費生活注意情報や、消費生活センターが主催する講座の案内をフェイスブックでいち早くお届けします。消費者庁等が発表した注意喚起情報等も発信していきますので、ぜひご覧ください。
<https://www.facebook.com/numazushouhi/>



今回紹介した事例をはじめとする、様々な悪質商法の手法とその対処法等、皆さんに役立つ情報を発信していきます!

相談員が消費生活に関する相談に応じます
直接または電話でお受けしています。お困りの際は、気軽にご相談下さい。
とき 平日、8時30分~17時15分 ところ 消費生活センター

※「沼津市消費者教育推進計画」についての詳細は、市ホームページをご覧ください。 広報めまづ 検索

めまづこの人 第19回

沼津市初、養豚生産者が国際コンテストで金賞受賞!

麦豚工房 SHINZUKA 石塚貴久さん(岡一色)



メダルを手にする石塚さん(右)とトロフィーを掲げる工場長の小野さん(左)

通常の3倍の麦を与えて育てる「麦豚」にこだわり生産から加工・販売まで一括して行う石塚さんは、3年ごとに開催される「ハム・ソーセージの国際コンテスト」(I.F.F.A.)に今年初出品しました。外見や食感、香り、味等120項目で5点満点中4.8以上を獲得した商品にのみ金賞が贈られます。今大会には世界中から約3千点がエントリー。石塚さんの出品した15商品全てが入賞を果たし、その中のコースハム等8品が金賞を受けました。

沼津で開催されるイベントにも多く出店し、地元においしさを届けています。また、市主催の小学生食育体験(食育DAYキャンプ)の受け入れも長年実施しており、ソーセージ作

▲金賞受賞ウイナーはふるさと納税返礼品でも大人気!牛肉と混ぜず、麦豚100%の製品にこだわっています。



▲食育体験の様子。作ったソーセージはホットドックにして食べました!

石塚さんは「消費者にわかりやすい形で評価されて嬉しいです。今後もイベントや食育体験を通して、養豚生産現場を知ってもらい、肉をおいしく食べることができるとの思いがたまたま大切さを伝えていきたいです。」と笑顔で語ってくれました。

ここが自慢 わたしたちの学校! 第19回

門池小学校(岡一色) 地域みんなで考え、協力して活動!

地域の憩いの場である「門池公園」が近くにあり、自然環境に恵まれた門池小学校。そんな門池小学校の自慢は、地域とのつながりの強さです。子どもたちは「門池まつり」等の地域行事に参加したり、「門池の水と環境を考える会」に出席し、環境についての講演や門池中学校生徒による研究発表を聞いたります。地域環境に関心を持つ機会を得ています。また、地域の皆さんには運動会や持久走等の学校行事に協力参加して頂き互いに交流が深まっています。



▲餅つきにも気合が入ります ▲巨大なやぐら

教頭の酒井先生は「地域学習や体験学習の講師、放課後子ども教室、登下校の見守り等、多くの地域の皆さんに積極的に協力頂けるので、子どもたちは元気に生活し、地域環境等の魅力を身近に感じながら学ぶことができます。」と話してくれました。

開校: 昭和47年 児童数: 732人
ホームページアドレス
<http://www.numazu-szo.ed.jp/kadoike-e/>